直撃インタビュー

この地から！この力！

県内初の
女性プロ棋士
加藤（かとう）　千笑（ちえ）さん
（高校2年生・岐阜市立梅林中学校出身）

2018年の女流棋士特別採用試験本戦を11戦全勝で突破し、4月に県内初プロ女流棋士となりました。
通信制高校で勉強しながら、プロとしての挑戦を続けています。

座右の銘：努力・継続は力なり
憧れの人：囲碁の師匠

囲碁を始めたきっかけは？

生来の病気で車椅子で生活をしていたため、室内で遊ぶことが中心でした。幼稚園の頃に、たまたま父が図書館で借りた囲碁の入門書を読み、多くの本の中でも特に興味をもちました。小学2年の時に近所の公民館での囲碁教室へ行ってからは、囲碁が毎日できる施設へも通うようになり、夢中になりました。

囲碁の魅力は？

囲碁は将棋やオセロなどと違い、どこからでも石を置くことができ、自分を表現できると思います。そんな自由なところが魅力です。五手先、十手先の図を何パターンも頭に描いて碁を打ちます。相手の打つ特徴も勉強して努力します。努力した分が結果となって表れてくることも囲碁の魅力の一つです。

つらいと感じたのは、どんな時？

小学6年で全国大会に優勝し、プロを目指そうと考えました。しかし、これまでのプロになる試験には何度も合格しませんでした。特に7回目の挑戦では、勝てると思っていたのに力を出し切れなかったので、とてもつらく感じました。勝てない焦りを感じましたが、どんな時も囲碁をすることが習慣になっているので、やめたいとは思いませんでした。つらい時も支えてくれた家族に感謝しています。

高校を選択したときの思いは？

囲碁に打ち込める時間をもちながら学業と両立することを考えました。親や学校の先生にアドバイスをもらい、通信制の高校を選びました。毎日インターネットを使って少しずつ勉強したり、レポートを出したりしています。
囲碁は棋譜（囲碁を打った手を順に記入した記録）を見て、毎日勉強しています。どちらも楽しく学んでいます。

これからの夢や目標は？

まずは、タイトルを取りたいと思います。タイトル戦は1年に数回あります。
また、プロ女流棋士は囲碁を普及することも役割なので、みなさんに囲碁を知ってもらったり、親しんでもらったりできるような活動をしていきたいです。

市内の小中学生へのメッセージを！

自分の好きなことを見つけ、続けていってほしい！
そして、何よりも、好きなことを楽しんでやってほしい！

目標を達成するまで、あきらめずに努力し続け、8度目の挑戦で夢をつかんだ千笑さん。努力を続けることがすばらしいですね。丁寧な受け答えにプロとしての誇りと風格を感じました。囲碁をよく知らないインタビュアーに分かりやすくルールを説明してくださり、囲碁を普及させようという熱意にもあふれています。今後も千笑さんのますますの活躍が楽しみですね。

平成29年度 家庭市民教育啓発運動「決めて、守ろう！〔我が家のルール〕」優良賞作品

優良賞
大平（おおひら）　智司（さとし）（平成二十九年度　且格小学校　5年）
我が家のルール
「ご先祖様に見守られて」

僕の家では毎晩、お仏だんの前でおじいちゃんやおばあちゃんがお経をあげます。僕たちも、寝る前に手を合わせます。おじいちゃんやおばあちゃんに用事があるときは、僕たちがお経をあげます。
また、その年に初めて収穫できた農作物があるときや、お米を炊いたとき、通知表や賞状をいただいたときなどにお仏だんにお供えをします。
お仏だんに手を合わせると、ご先祖様や仏様に見守ってもらえている感じがして、心が落ち着きます。そして、今日一日元気に過ごせたことへの感謝の気持ちがわいてきます。
これからも毎日お参りを続けていきたいです。

優良賞
福井（ふくい）　梨央（りお）（平成二十九年度　岩野田北小学校　5年）
我が家のルール
「トイレットペーパーを三角に折ろう。」

私の家では、トイレを使ったら、次に使う人のためにトイレットペーパーを三角に折るルールがあります。
ふだん、みんな仕事や学校、習い事などで忙しく、家族全員で過ごす時間が少ないのですが、どんなに忙しくても、トイレに行けば家族のだれかが折ったトイレットペーパーがあり、まるで自分のそばに家族がいるような気持になります。
私や家族にとって、トイレは家族のつながりを感じさせてくれます。いるだけで家族といっしょにいるような気持ちになれるトイレ。ああ、今日も家のトイレで、この気持ちを感じたいな。

優良賞
坂口（さかぐち）　晴香（はるか）（平成二十九年度　鷺山小学校　6年）
我が家のルール
「『ありがとう』のやり取り」

私の家では、家族全員がいつも忙しいお母さんのお手伝いをする、というルールをつくって取り組んでいます。
毎朝、一人一枚、「やることカレンダー」に三つずつやることを書きます。そうすると、家族全員がやることカレンダーをチェックできるようになり、「頑張ろう」という気持ちになれます。
このルールを決めてから、
「お母さん、○○やるね。」
「ありがとう。」
といった感謝を伝える言葉のやり取りが増えました。これからも、家族が協力し合えるように、毎日続けていきたいです。

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。“家族でふれあう時間を大切にしましょう！”

さあ夏休み！ 自ら 学習できる環境をつくろう！

中央青少年会館（明徳町）

スタディルーム

来た時と帰る時にスタッフに挨拶をして使います。

静かで集中できるし、好きな時間に学習できるから使いやすいよ。（高校3年生）

中央青少年会館においでよ！

毎日来てもよし
北青少年会館（福光東）

談話室・図書室

気分転換に来てもよし
青山青少年会館（小西郷）

談話室・図書室

マンガがあります。

和室

会議室（学習室）

西部福祉会館（西荘）・東青少年会館（前一色）もあります。

編集後記

岐阜市の誇りである「鵜飼」。鵜匠さんの思いは伝わりましたか。歴史や携わる人々の思いを受け継ぎ、高校生が新たな面から支えていることも岐阜市の誇りですね。若い人の力や知恵が、地域行事や様々なイベントを盛り上げています。この夏、一歩踏み出して、自分の力や知恵を生かしてみましょう。大きな心の宝物を得られると思いますよ。

第51号　平成30年7月15日発行
編集・発行
岐阜市教育委員会
中央青少年会館
〒500-8813　岐阜市明徳町11番地
TEL/FAX 058-266-5134

語り合おう夢！活かそう力！

小中学生のための地域情報発信誌

egg（えがお げんき ぎふっ子）エッグ

岐阜市少年の主張大会2018

6月23日（土）
メディアコスモスにて

「言葉に力が宿る」

日頃の生活で得た経験を基にした言葉は、人に力強く伝わります。23名の代表者の若者らしい主張に、会場は、すがすがしく心地よい空気に包まれました。
4名が優秀賞に選ばれました。

特集

岐阜の地域文化「鵜飼」を伝えよう ～長良川うかい～

鵜匠　杉山雅彦さんインタビュー
長良川うかいミュージアム
外国人に伝えるESS高校生

県内初の女性プロ棋士
加藤（かとう）　千笑（ちえ）さん（高校2年生）

この地からこの力

地域で輝く小中高生

eggマスコットキャラクター
いのくっち

vol.51
2018.夏号

岐阜市発
情報発信誌

eggのホームページにアクセスしよう！
デジタル egg　検索

岐阜市ホームページ　http://www.city.gifu.lg.jp/

発行　岐阜市教育委員会 中央青少年会館